

2023-2024

CSR コミュニケーションレポート

Communication
SDGs
Relationship



2022パラアートTOKYO 第9回国際交流展 「なかま」
アデランス賞 受賞作品 大山陽菜 様

ずっと笑顔でいられるために

アデランス
Aderans

経営理念

私たちアデランスグループの最大の使命は
毛髪・美容・健康のウェルネス産業を通じて、
世界の人々に夢と感動を提供し
笑顔と心豊かな暮らしに貢献することです

私たちが目指すもの
「最高の商品」
「最高の技術と知識」
「心からのおもてなし」

トップメッセージ

グローバルウェルネスカンパニーの実現

次の100周年に向けて、毛髪・美容・健康・医療の「グローバルウェルネスカンパニー」を目指し、「世界のブランドアデランス」を実現してまいります。

世界19の国と地域で事業を展開しています

北米

アデランス・アメリカ・ホールディングス社
アデランス・ヘア・グッズ社
ボズレー社
ヘアクラブ社
アメコア・インダストリー社
エステティカ・デザイン社
インヴォーグ社

**BOSLEY
HAIRCLUB**

ヨーロッパ

アデランス・ヨーロッパ社
アデランス・ドイツ社
アデランス・ベネルクス社
アデランス・ユース社
アデランス・スウェーデン社
アデランス・トータルヘアソリューション・イベリア社
ロンドンヘアクリニック社

Aderans
BENECOS
CARL M. LUNDH
C.M.L. HAIRCENTER
Aderans

Aderans
愛徳蘭絲
Aderans
愛徳蘭絲

アジア

アデランス香港社
アデランス台湾社

アデランス・シンガポール社
アデランス・タイ社
ワールド・クオリティ社
ラオ・クオリティ社
アデランス・フィリピン社
アデランス・トータルヘアビューティソリューション社

日本

アデランス
アデランスメディカルリサーチ
パルメッセ
ライツフォル
アデランスパイオ

アデランス
L'ETAS
アデランス
FONTAINE

REIZVOS
hi-net.
NAVANA WIG

(2023年8月末現在)



株式会社アデランス
代表取締役会長
ファウンダー（創業者）
根本 信男

男性用オーダーメイド・ウィッグの専門店として日本で創業した当社は、現在では、国内だけでなく、アメリカ・ヨーロッパ・アジアなどの海外でも事業を行う、男性用・女性用ウィッグ、毛髪移植、ヘアシステムなどのトータルヘアソリューション企業となりました。

活動地域は、現在19の国と地域となり、約6,700名の社員がグローバルな活動を広げています。それにとともに、企業としての社会的責任にもグローバルな視点が不可欠となっています。

2023年は創業55周年という節目を迎えました。5年前に決断した新事業への挑戦、コロナ禍で取り組んだ改革が実を結び、グローバルビューティ&ウェルネスカンパニーに向けた成果として着実に現れてきています。

「毛髪・美容・健康のウェルネス産業を通じて、世界の人々に夢と感動を提供し笑顔と心豊かな暮らしに貢献する」という経営理念を軸に考動し、社会的価値の新たな創造に挑戦してまいります。



株式会社アデランス
代表取締役
グループCEO
津村 佳宏

会社情報

商号

株式会社アデランス
(英文名称：Aderans Company Limited)

本社

〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番6号
品川シーサイドキャナルタワー

設立

1969年（昭和44年）3月1日

資本金

1億円

主要事業

毛髪関連事業、ビューティ&ヘルス事業、
グループ会社の経営管理ならびに
それに付帯する事業

グループ会社数

67社 非連結子会社等を含む

地域別社員数

国内 2,432名 国外 4,137名
(国外は2023年6月末時点)

店舗数

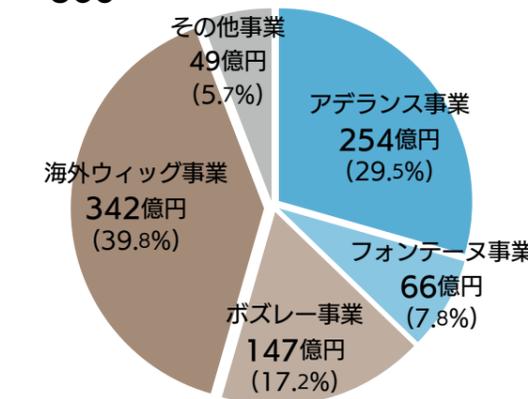
地域	店舗数
国内	448店舗
国外	265店舗
アデランス	162店舗
アメリカ	197店舗
フォンテーヌ	218店舗
アジア	20店舗
病院内ヘアサロン	35店舗
ヨーロッパ	48店舗
その他	33店舗
(国外は2023年6月末時点)	

(記載がないものについては、すべて2023年8月末時点の数値)

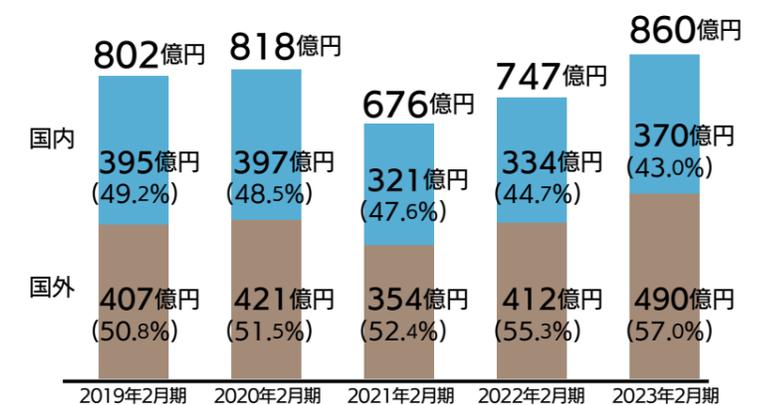
業績ハイライト (連結ベース、2023年2月期)

セグメント別売上高

計860億円



地域別売上高



※「その他事業」には、美材ルート事業、医療事業、通信販売事業、ハイネット社等が含まれています。
※記載金額は表示単位未満切り捨て、比率は少数第一位未満を四捨五入で表示しており、合計が一致しない場合があります。

沿革

アデランスは、1968年に男性用オーダーメイド・ウィッグ専門店として創業以来、「お客様の毛髪に関するお悩みを解決したい」という思いで、常に新しい価値を創造し続けてきました。

2018年には50周年を迎え、業界の常識を打ち破る画期的なアイデアで、革新的な商品やサービスを提供し続け、世界に類を見ない総合毛髪関連企業へと成長いたしました。今後は、毛髪・美容・健康・医療の「グローバルウェルネスカンパニー」を目指し、「世界のブランド アデランス」を実現してまいります。

1970

1980

1990

2000

2010

2020

2022

次の50年に向けて
アデランスの成長戦略『NEXT ADERANS』

「生まれ変わる」をテーマに、会社特命プロジェクト「NEXT ADERANS」を発足。事業の多文化とワールドワイドなソリューションを推進しています。

55
NEXT ADERANS
SINCE 1968 アデランス

2023

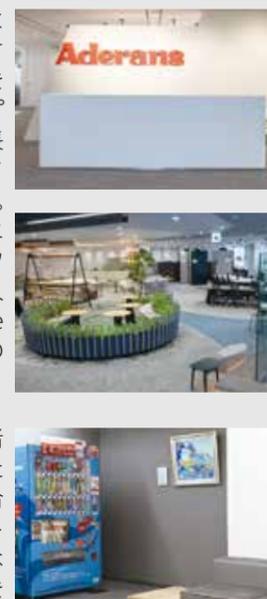
品川シーサイドキャナルタワーに本社を移転

2023年5月、これまで各拠点に分散していた本社機能を集約することで、本社から働き方改革を強化・推進すると共に、グループ全体の経営力向上と事業の成長を図るため、本社を品川シーサイドキャナルタワーへ移転しました。新本社では、生産性やコミュニケーションの向上を目的に、フリーアドレス化など、社員個々が「働きやすく」「Performanceを最大限発揮できる職場環境」の整備を進めています。

また、多くの皆様に障がい者アート作品に触れていただきたいとの思いから、受付近くの待合エリアには、2022年パラアート展にてアデランス受賞作品「なかま」(大山陽菜さん作)の展示を行っています。

当社創業者の根本信男会長が「旭日小綬章」を受章

2023年5月、当社代表取締役会長 ファウンダー(創業者)の根本信男が、令和5年春の叙勲において旭日小綬章を受章しました。旭日章は日本の勲章の一つで、社会の様々な分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた者を表彰するものです。アデランスの創業・発展、毛髪業界全体の発展や技術革新に寄与した実績など多岐にわたる業績から、今回の受章に至りました。



ウェルネス産業へ事業領域を拡大

2021

“レジェンド葛西”CCOに就任



2022

アデランス・レディスアデランスサロン スタッフ用ユニフォームをリニューアル



環境に配慮したSDGs視点の新商品ウィッグを発売



第三の機能性人工毛「CYBER X(サイバーエックス)」の開発に成功



2015

世界初の国家基準化 医療用ウィッグJIS規格制定



2016

美容領域へ進出 ビューステージブランド誕生



2017

フォンテーヌの全国ロープレ・スタイリング大会を初開催



2020

光触媒技術を活用した 衛生事業を開始



グローバル化

2001

米国毛髪移植のボズレー社をグループ化



2002

病院内ヘアサロンの1号店をオープン



2009

ウィッグの回収と自然を結び「フォンテーヌ緑の森キャンペーン」



2013

輝く女性への応援を開始



1985

文化芸能活動が大きく加速 スタジオAD誕生



1986

アデランス・タイ社設立



1991

人工毛髪の商品化 「サイバーヘア」商品を発売



1999

タイ工場を ISO9001/ISO14001取得



1978

子どもたちに笑顔を 「愛のチャリティ」スタート



1979

型取り(フィッター)を開発



1980

全国技術競技大会を開催



1983

人工毛髪の研究開始



1968

男性用ウィッグ専門 「個人商店アデランス」を創業



1972

テレビCMをスタート。男性用ウィッグの存在を社会に広める



1974

全面人工皮膚のウィッグ 「AS-1」の販売を開始



注)写真は「AS-3」

1976

装着方法に革命を起こした ワンタッチ商品「AQ-15」を発売



アデランスグループの主な変遷

1969 | アデランス社を設立 (1968年創業)

1985 | フォンテーヌ社をグループ化 (1970年創業 (2003年アデランス社と統合))

1986 | アデランス・タイ社を設立

1990 | アデランス台湾社を設立

1992 | ワールド・クオリティ社を設立

1992 | アデランス・フランス社、アデランス・ドイツ社、アデランス・ベネルクス社をグループ化 (カムフレックス・フランス社(1952年創業)、ヴァン・ノイエン社(1925年創業、1994年グループ化)、カムフレックス・ドイツ社(1966年創業)、モンフェア・モデーナ社(1986年創業)、カムフレックス・ベルギー社(1962年創業))

2001 | ボズレー社をグループ化 (1974年創業、ボズレー・メディカル・インスティテュート社(1989年創業)、ボズレー・メディカル・カナダ社(1997年創業)を2001年にグループ化しボズレー社に統合、エム・エイチ・アール社(1999年創業、2007年グループ化))

2002 | アデランス・シンガポール社 アデランス・フィリピン社を設立 (アデランス・ユーケー社をグループ化 (トレンド・ヘア・サプライズ社(1964年創業))

2005 | アデランス上海社を設立 (アデランス・スウェーデン社をグループ化 (カール・エム・ルンド社(1900年創業))

2009 | アデランス・ヘア・グッズ社をグループ化 (インターナショナル・ヘアグッズ社(1968年創業、1987年グループ化)、ルネ・オブ・パリ社(1971年創業、1989年グループ化)、ニュー・コンセプト社(1991年創業、1998年グループ化)、ジェネラル・ウィッグ社(1963年創業、1998年グループ化)、アデランス・リテイリング社(2001年創業)を統合)

2013 | ヘアクラブ社をグループ化 (ヘアクラブフオーメン社(1976年創業、2003年ヘアクラブ社と統合))

2014 | アデランス・ラオス社(現:ラオ・クオリティ社)を設立

2016 | ライツフォル社をグループ化(2003年創業) ハイネット社をグループ化(1960年創業)

2017 | アデランスメディカルリサーチ社を設立 アデランス香港社を設立

2018 | アメコア・インダストリー社をグループ化(1980年創業) エステティカ・デザイン社をグループ化(2005年創業) (アデランス・トータルヘアソリューション・イベリア社を設立 (アデランス・トータルヘアビューティソリューション(タイ)社を設立))

2019 | アデランス韓国社を設立

2021 | アデランスパイオ社を設立 インヴォーグ社をグループ化

国内事業

日本国内では、男性向け「アデランス」、女性向け「レディスアデランス」「FONTAINE」のブランドを核に、時代とともに変わるお客様のニーズに対応しています。

アデランス事業 トータルヘアソリューションブランド アデランス

アデランスのサービスは、まず初めにお客様の髪や頭皮に関するご相談を丁寧に伺うところから始まります。お客様のお悩みやご希望のヘアスタイルに応じて、お客様の髪の色や頭の形に合わせてつくる「オーダーメイド・ウィッグ」、自髪を活かして部分的に増やす「増毛商品」、頭皮環境を整える「育毛サービス」や最新の増毛技術「ヘアシステム」まで、お客様の魅力を最大限に引き出す商品・サービスをご提供します。また、定期点検やウィッグメンテナンス、ヘアカット、ヘアケアなど、アフターサービスも充実させています。
(2023年5月末現在、全国161店舗展開)

アデランス

「髪を増やす」「髪を育てる」という2つのアプローチ



増毛サービスの「ヘアパーフェクト」、自髪を活かして人工毛髪を結びつける増毛商品「バイタルEX」、育毛商品「ヘアリプロ」まで幅広いラインナップ。米国ヘアクラブ社のシステムをアレンジした会員制定額プラン増毛ヘアシステム「アデランスフリーダム ジェントルクラブ」も発売。髪と頭皮をトータルケアする「ヘアリプロ」を展開するなど、男性のあらゆる髪のお悩みにお応えべく進化し続けています。

レディスアデランス

オーダーメイド・ウィッグからビューティヘア&スカルプケアまで

女性向けオーダーメイド・ウィッグブランドとして長くご愛顧いただいている「イヴシリーズ」は、グループで培った技術やノウハウをもとに、女性の髪のお悩みを解決しおしゃれを楽しんでいただく商品をご提供しています。また、「大人のエクステ」として「ヘアアップα」や頭皮をケアしながら美しい髪を育む「ベネファージュ」シリーズも展開しています。



時代に沿った働き方と新たな販路の確立

現在、日本は「100年人生時代」と言われ、多種多様な働き方が求められています。同様に、従来のビジネスモデルでは通用しなくなり、新たな顧客獲得には柔軟性が求められています。そこで、当社は、個人事業主、特約代理店、フランチャイズの3つの制度を、すべてお客様の視点から検討し、構築しました。誰でも、知らない人のアドバイスよりも、信頼できる人からのアドバイスが受け入れやすいです。もし担当のスタイリストからウィッグについての提案を受けたなら、新しい試みとしてハードルは下がるでしょう。これにより、気付きが芽生え提案が実を結ぶことで、お客様の笑顔だけでなく、市場開拓、顧客定着、顧客満足、ひいては売上増加といった利点も生まれます。このような全ての制度が三者共に利益を享受できる「三方よし」の仕組みとなっています。今後、更なる発展を促進し、当社の製品が広く利用される社会を築くため、一層努力し続ける所存です。



株式会社アデランス
パートナーズ事業部
事業部長
藤生 善則

フォンテーヌ事業 手軽に楽しめるレディメイド・ウィッグをバリエーション豊かにご用意

全国218店舗の百貨店、直営店、大手流通チェーンで、レディメイド・ウィッグを提供しています。(2023年8月末現在)百貨店内の店舗と直営店では、メイン商品ブランドとなる「ヴァラン」をはじめ、よりハイクラスなスペックの「ヴァラン プレミアム」、ウィッグが初めての方にお勧めのベーシックスタイル「FDW」など、幅広く商品を展開。さまざまなタイプやヘアスタイルのウィッグをラインナップして、ヘアのご要望にお応えしております。

広がり続けるフォンテーヌブランド

より多くの女性にウィッグを楽しんでいただきたい。そんな想いからあらゆるファッションシーンで楽しんでいただくためのブランドを、多様な流通経路を通じて発信しています。主力ブランドであるフォンテーヌは、全国の百貨店と直営店で展開。また、より身近に気軽にウィッグを楽しんでいただける「スワンニー by フォンテーヌ」と欧米を中心に海外の女性に愛されてきた“インポートブランド”「ルネ・オブ・パリ」をはじめ、アクティブにオシャレを楽しめるウィッグショップを大型スーパーやショッピングモールを中心に展開しています。

FONTAINE



ルネオブパリ Rene of Paris by フォンテーヌ



スワンニー Swanee by フォンテーヌ



その他国内事業

美材ルート事業

美容材料商や、TVショッピングなどの通販会社などを通じた卸事業を中心としたBtoBビジネスを展開。ウィッグを美容師を対象とした講習会を実施して販促活動をしたり、プロ仕様の「Bosley Professional」シリーズをはじめとしたビューティ商品をお届けしています。

医療事業

病院内にヘアサロンを35店舗(2023年8月末現在)開設。患者さまの身体的負担を考慮した移動式理美容椅子を導入し、頭皮にやさしいヘアケア商品を使用した一般理美容サービス(シャンプー、ヘアカット)に加えて、医療用ウィッグ「ラフラ®」をはじめ、ファッションウィッグを提供しています。また、患者さまのQOL向上に貢献するため、治療に伴う様々なケアグッズをご紹介します。



通信販売事業

EC直販サイトやダイレクト通販を中心としたBtoCビジネスを展開。男性、女性向けヘアケア商品から美容機器、ウィッグまで幅広い商品ラインナップが特徴です。

ビューティ & ヘルス事業

先端美容をテーマにした「ビューステージ」ブランドでは、トータルビューティをサポートする商品・サービスを強化しています。2020年11月より眉毛のスタイリングを提供する「ビューステージ アイブロウサロン」をアデランスサロン内に併設して展開しています。(2023年8月末時点59店舗)



衛生事業

国内子会社のパルメッセとアデランスバイオを中心に、アデランスグループにて衛生事業を展開。抗菌・抗ウイルス、消臭等の効果が期待される光触媒をはじめとする様々な技術を用いて、製品開発やコーティング施工を手掛けています。今後は、アデランスグループのネットワークを活かし、国内外の企業や自治体と協力して、更なる成長を図ってまいります。

国内グループ会社

アデランスメディカルリサーチ社



医療機関向けに機器や医薬品、サプリメントや機能性表示食品などの開発および販売、また、クリニック開業・運営支援並びにコンサルティング事業を行っています。

ライツフォル社



専属工場を持ち、主に女性用ウィッグ、医療用ウィッグの製造販売・修理並びにヘアサロン(美容ルート)へのご提案を行っています。自社運営のネットショップおよびモール型店舗では、ウィッグのほか厳選した美容・健康商品を多数取り扱っています。

アデランスバイオ社



佐賀県に本社兼工場を構え、光触媒をはじめとする衛生商品の開発製造から販売までを一貫して手掛けています。また、バイオサイエンスによる環境問題への取り組みなど、アデランスグループ全体における衛生・環境分野の強化・推進を図ってまいります。

パルメッセ社

保険事業、衛生事業、店舗開発事業、不動産事業、美容・健康事業を展開しています。衛生事業では、光触媒技術を活用した「Hikarium」、抗菌・抗ウイルス・防カビ効果を持つ多機能抗菌剤・Bioomコーティング、優れた防汚・防傷効果を持つガラスコーティングを活用した商品・サービスを提供しています。店舗開発事業では、サロンやクリニック開業時の企画、設計、施工やリノベーションの支援を行っています。

PalMesse

海外事業

各国のグループ会社においても、国内の取り組みと連動して「自社の強みを社会で活かす」を基本精神に、お客様の毛髪に関するニーズに対応しています。

BOSLEY

北米での海外ビジネス

ボズレー社



ボズレーは北米市場における毛髪移植（ヘアトランスプラント）のリーディングカンパニーです。

ボズレー社は北米市場でトップシェアを有する、毛髪移植における世界的な第一人者です。ボズレーの毛髪移植は専門性の高い医師と医療スタッフによって行われ、後頭部または側頭部の頭皮から健康な毛包（毛根を含む組織）を切除し、薄毛部分に移植します。ボズレーではFUE^{*1}施術やFUT^{*2}施術に加えて、医療タトゥー、PRP（多血小板血漿）療法、FDA 認証を受けている BosleyRX（テレメディシン）ソリューションなど、外科的および非外科的な最先端の毛髪再生ソリューションを提供しています。2023年5月末現在、25のクリニックと50の相談室を展開しています。

*1: FUT: 毛包移植 (Follicular Unit Transplantation) *2: FUE: 毛包抽出 (Follicular Unit Extraction)



アデランス・ヘア・グッズ社

アデランス・ヘア・グッズ社は、男性・女性向けのオーダーメイド・ウィッグ、レディメイド・ウィッグなどの卸売を展開しています。今後はさらなる成長に向け、既存ブランドの強化や新規商品の開発、販路の開拓を行っていきます。

インヴォーグ社

自社Eコマースサイトを通じて、ファッションウィッグ、医療用ウィッグ、ヘアピース、エクステンション、メンテナンスに必要なケア用品などの、毛髪関連商品の小売販売を行っています。

アジアでの海外ビジネス

アデランス香港社



2017年4月、現地法人を設立。男女オーダーメイド・ウィッグ、女性向けレディメイド・ウィッグの販売のほか、育毛・増毛サービスの提供を行っています。

アデランス台湾社



1990年1月、現地法人を設立。ヘアサロン機能を完備したオーダーメイド・ウィッグ、レディメイド・ウィッグ、増毛・育毛サービスを提供するサロンを運営するほか、レディメイド・ウィッグをメインとした路面店、百貨店での運営も行っています。

アデランス・シンガポール社



2002年9月、現地法人を設立。モールでのレディメイド・ウィッグの販売のほか、サロンでのオーダーメイド・ウィッグ、増毛・育毛などトータルに展開しています。

アデランス・トータルヘアビューティソリューション（タイ）社

2018年9月、バンコクに現地法人を設立。男女オーダーメイド・ウィッグ、レディメイド・ウィッグと関連商品の販売、増毛サービスの提供をしています。

チーム力で世界中を笑顔でいっぱいになりたい

アデランス・ベネルクス社は、トータルヘアソリューション企業としてベネルクスNo.1を目指し、熱意あるチームの努力により売上やBtoB Eコマースでの受注比率を向上させました。小売部門では、ヘアトリートメントのアップグレードや高級製品の販売に取り組んでいます。私たちが常に目指しているのは、世界中を笑顔で満ち、お客様に自信と幸せをもたらすことです。チームワークを重視し、社員の意見を尊重する姿勢やスキル向上のためのトレーニング、効果的な部門間コミュニケーションを大切にしています。私たちは引き続き、最高のデザインと開発を行い、お客様へ最高のサービスを提供し、最高の品質を維持していくことを目指し、チーム一丸となり、シナジーを生み出しながら、アデランスのビジョンを実現するために努力を重ねていきます。



アデランス・ベネルクス社
ジェネラル マネージャー
ミッシェル・ヴァン・タートウィク

ヘアクラブ社



北米市場において毛髪に悩む男性・女性向けに総合毛髪関連事業を展開するリーディングカンパニーです。

HAIRCLUB®

ヘアクラブ社は、北米市場におけるリーディングカンパニーとして、毛髪に悩む皆様に毛髪関連商品をご提供しています。細やかな気配りと高い実績、他社の追随を許さないサービス、さらにはグループ会社であるボズレーと協働し（植毛顧客のボズレーへの紹介）、ヘアシステムや増毛商品などを中心とした幅広い商品を取り揃え、髪のお悩みやご予算、増毛方法など、お客様一人ひとりのご要望にお応えしています。米国、カナダなどに118店舗を展開しています。（2023年5月末現在）

40年にわたり、毛髪に悩むお客様をサポートしてまいりました。経験豊富で優れたカウンセラー、美容師、施術スタッフが一丸となり、これからも信頼と実績を築いてまいります。

アメコア・インダストリー社

女性用のレディメイド・ウィッグの卸売販売を行っています。アフリカ系アメリカン市場に強みを持っており、今後もシナジーを活かして成長していきます。

エステティカ・デザイン社

女性用のレディメイド・ウィッグの卸売販売を行っています。エステティカは、定番スタイルの他、革新的なカラーとスタイルのウィッグで知られた存在です。



欧州での海外ビジネス

アデランス・ユークレー社



ファッションウィッグやヘアエクステンション、その他毛髪関連商品の卸売・小売販売を行っている、英国におけるウィッグ販売の第一人者です。

アデランス・スウェーデン社



スウェーデンでのウィッグの代名詞となった企業。国内のみならず、フィンランドやノルウェー、デンマーク等に輸出しています。病院内ヘアサロンを含む店舗の運営も行っています。

アデランス・ベネルクス社



オランダ、ベルギー国内の卸売、直営店での小売販売の他、オランダでは病院内ヘアサロンも展開。女性用ウィッグの分野では、オランダ、ベルギーにおけるファッションリーダー企業です。

アデランス・ドイツ社

ウィッグやヘアピースなどをドイツ国内百貨店・直営店で小売販売。ドイツ国内および東欧諸国での卸売を行っています。

アデランス・トータルヘアソリューション・イベリア社

ファッションウィッグやつけ毛、その他毛髪関連商品をスペイン、ポルトガルに卸売しています。その他、小売店2店舗の運営を行っており、毛髪移植のサービスも提供しています。

グループ生産拠点

アデランスグループは、生産販売一貫体制のもと、タイ、フィリピン、ラオスなどにある自社工場及び提携工場において、熟練した技術者が繊細で高品質なウィッグの生産を担っています。

当社は、1986年のアデランス・タイ社設立を皮切りに、1992年にワールド・クオリティ社(タイ)、2002年にアデランス・フィリピン社を設立し、東南アジアでの生産を拡大してきました。

2012年9月よりラオスでの生産を開始し、2013年10月にはフィリピン第2工場を稼働しました。タイ、フィリピン、ラオスを三拠点として、お客様に高品質のウィッグをお届けしています。



アデランス・フィリピン社

2002年にフィリピンのクラークに設立されたアデランス・フィリピン社は、男女向けのオーダーメイドウィッグの製造と輸出を専門としています。

2012年に人工毛髪「サイバーヘア」の生産を開始し、2013年にはオーダーメイドウィッグの毛植え工程を専門とした第2工場を稼働させました。この工場では、高度な技術と熟練した職人たちによって、顧客のニーズに合ったウィッグを製造しています。

2015年には教育部を設立し、新たな人材の育成や外部の製造先における技術教育にも力を入れています。当社は、技術の継承と向上に重点を置き、産業の成長に貢献することを使命としています。

最新の工場は、革新的な設備と快適な作業環境が整っており、地元の人々にとっても魅力的な職場となっています。また、その先進性は日本のテレビ番組でも取り上げられ、注目を集めました。

常に技術革新に取り組み、品質の向上と顧客満足度の追求に努めています。私たちの目標は、これからも世界中のお客様に最高品質の製品を提供することです。



現地従業員数 (2023年8月末現在)

アデランス・タイ社	589名
ワールド・クオリティ社	208名
アデランス・フィリピン社	657名
派遣社員	418名
ラオ・クオリティ社	841名

*派遣社員：派遣会社と提携して工場内で就業している社員

コーポレート・ガバナンス

アデランスグループでは、コーポレート・ガバナンスを推進し、サステナブルな企業成長を実現するために、地球規模での社会の変化・変動に対応する新リスク管理計画を本年度(2023年)策定いたしました。

アデランスグループは世界19の国と地域に67社のネットワークでグローバルに事業を展開しています。こうした世界規模での事業環境の変化や変動に対応するために新リスク管理計画を下記の9分類のリスクを対象に策定いたしました。

- ①情報リスク
- ②システムリスク
- ③労務リスク
- ④法務リスク
- ⑤災害・事故リスク
- ⑥商品・販売リスク
- ⑦資産リスク
- ⑧広報リスク
- ⑨会議リスク

例えば、システムリスクのひとつであるサイバー攻撃は、欧米では頻繁に起こっており、特に米国はサイバー攻撃を国家リスクのひとつと捉え、国際テロとしてFBIを含んだ対応を強めています。当社もそうしたリスクへの迅速な対応を実現すべく、社内にリスク管理緊急対策本部を設置しております。

新リスク管理計画に沿った年間活動成果を来年のCSRコミュニケーションレポートでお伝えしたいと思います。



株式会社アデランス
上席執行役員
管理本部 副本部長
箕輪 睦夫

海外各社での新しいCSR活動

AD(ドイツ社)「チャリティーゴルフカップ」プレイ・フォー・ライフへの寄付

美容師ネットワーク「Intercoiffure Deutschland」が主催するこのチャリティー・ゴルフ・カップの収益金は、他国の若者たちが美容業界で研修を受けられるようにするために使われます。2023年9月23日・24日に実施されたゴルフカップにプレミアムスポンサーとして、参加しました。

エステティカ・デザイン社) お取引先と一緒に「Keep A Breast」活動をサポート

エステティカ・デザイン社では、2019年より「Keep A Breast(KAB)」に参加し、活動のサポートをしています。KABは、アメリカ合衆国カリフォルニア州ロサンゼルスに拠点を置き、芸術、教育、予防、行動を通じて、世界中で乳がんのリスクとその影響を軽減することを目的にした非営利団体です。KABは、フィットネスプログラムや乳房のセルフチェックアプリなど、さまざまなキャンペーンや啓発活動を通じて、乳がん患者を減らす活動を行っています。

寄附金額に応じた特典プログラム

2023年より小売店、スタッフ、家族、友人、ウィッグを着用するコミュニティーの方々などのお取引先と一緒に協力を、各自の寄附金額等に応じた独自の特典プログラムを開始しました。

(寄附額)	(特典例)
\$25 ~ 149 :	次回注文でウィッグ購入時 10%OFF
\$150 ~ 49 :	国内配送費半額
\$500 ~ 999 :	国内配送費無料
\$1000 ~ 4999 :	10%OFF クーポン
\$5000 以上 :	国外配送費半額

(今までの寄附金額)

2019年	\$4,345
2020年	\$4,240
2021年	\$10,590
2022年	\$12,239



お取引先と一緒に乳がん患者をグローバルに減らす

乳がんのリスクを減少させ、その世界的な影響を軽減するために行うKABの素晴らしい活動に参加できることを、心から嬉しく思っています。

また、この取り組みはお取引先とのパートナーシップで支えられていて、その協力に感謝申し上げます。私たちが共に何か大きなことに貢献できることは、私たちにとって誇りであり、共に成し遂げられることに感謝しています。

乳がんリスク軽減に向けたKABの使命に共感し、これからも一緒に力を合わせて、より多くの素晴らしい成果を生み出すことを楽しみにしています。



エステティカ・デザイン社
社長 兼 CEO
Rich Gienopie

その他生産拠点



アデランス・タイ社

1986年、ナワナコンに設立し、1988年にプリラム工場が本格稼働しました。

レディメイド・ウィッグの一貫生産をグループ工場内では唯一行っており、商品の修理業務も行っています。また、文化芸能商品の生産担当工場にもなっており、一部のオーダーメイド植毛も行っております。

1999年にISO9001、ISO14001認証を取得しました。

2009年から学校内への植樹活動を行っており、2012年からは、病院へのウィッグ寄贈を開始しております。



ワールド・クオリティ社

1992年にタイのアユタヤに設立し、2001年から人工毛髪「サイバーヘア」(2012年APIへ移管)、2006年から人工毛髪「バイタルヘア」の生産を開始しました。2011年のタイ・アユタヤの洪水の被害を受け、2012年にサラブリに工場を建設し、移転しました。タイ、ラオスにおけるオーダーメイド・ウィッグの製造・物流窓口を担当しており、2015年にはISO9001認証を取得しました。

2017年には病院へのウィッグ寄贈を開始しました。



ラオ・クオリティ社

2012年に、新たな生産拠点として、ラオスのヴィエンチャン工場にて、オーダーメイド・ウィッグの毛植え工程の委託生産を開始しました。2017年に同工場を運営するラオ・クオリティ社をグループ化し、ワールド・クオリティ社から届く商品の毛植えをメインに行っています。

また、職業訓練校と連携して、植毛科を開設し、雇用の創出を図っています。障がい者女性・障がい者のご家族である女性・貧困で社会的、経済的に不利な状況に置かれた女性のために、植毛技術訓練研修も実施しています。

ずっと笑顔でいられるために

アデランスのCSRについて

アデランスグループでは、CSRへ取り組むことの意義を「健全で持続的な企業成長を目指すこと」という成長ドライバーにすることで事業との一体性を明確にし、本業を通じたCSRと位置づけたことにあります。そうした活動の根幹には、「自社の強みを社会で活かす」ことがあります。

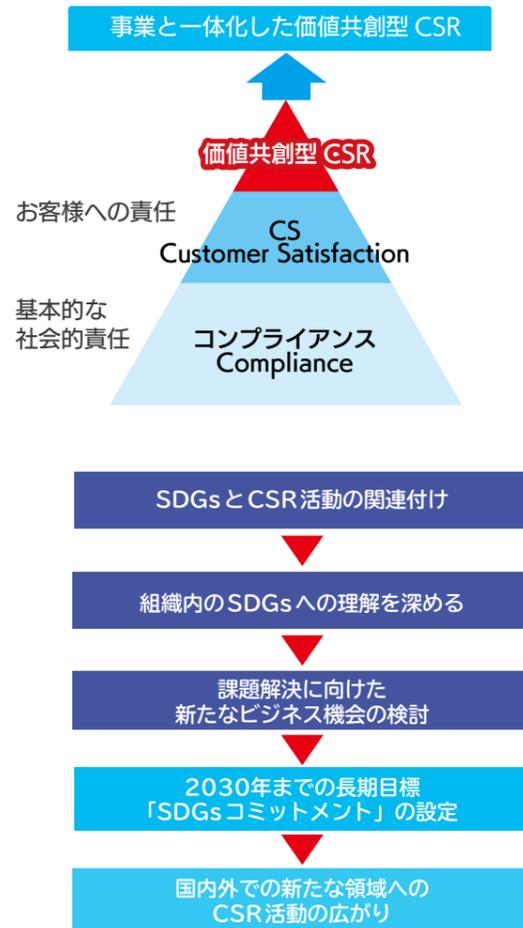
創業以来「お客様の毛髪の悩みを解決する」ために、アデランスグループが実現できる価値や強みを「事業と一体化」することに取り組んできました。

SDGs視点に基づいた活動体系へ

アデランスグループが、今まで取り組んできた価値共創型CSR活動を、SDGs視点に基づいた分類に移行し、関連性の高い目標策定を進めています。

2022年に社内の組織横断プロジェクトでは、アデランスグループの将来像とSDGsの社会課題に関する議論が行われ、現在その成果から新たな取り組みを進めています。

今後も、当社の事業成長と同時に、SDGsが目指す持続可能な社会が実現するような、社会課題の解決に寄与する事業の推進に努めていきます。



SDGs活動の4つの分野

ずっと笑顔でいられるために

健康の笑顔

- ・毛髪を通じた健康課題の解決
- ・毛髪周辺領域での潜在課題の解決



社会の笑顔

- ・地域社会・コミュニティとの連携
- ・社会を配慮したユニバーサルデザイン
- ・働きがい・人財育成・ダイバーシティ&インクルージョン



地球の笑顔

- ・環境汚染予防
- ・環境負荷の低減
- ・資源循環型社会の実現



未来の笑顔

- ・文化の発展
- ・子どもたちへのサポート
- ・持続可能な社会に向けた取り組み



各分野のSDGsテーマは主に関連するものを記載しています。また、活動内容によっては複数の分野に及ぶものもあります。

SDGs視点の新商品/新事業の展開

アデランスグループは、長年の毛髪研究から生まれた健康に関する技術を活かし、美容や健康領域において、健康な生活や社会的な課題に対する解決策を提供し、SDGs視点で寄与することを目指しています。

日本発の光触媒技術を世界へ 光触媒技術を活用した新事業

光触媒は、1967年に日本で発見された非枯渇性エネルギー技術で、衛生や環境において重要な役割が期待されています。当社は、光触媒反応の発見者である藤嶋 昭氏（東京理科大学名誉教授）と提携し、アデランスバイオを設立しました。ここでは、光触媒関連商品の販売を行うとともに、パートナー企業と協力して製品を開発します。この衛生事業は、地球の未来に向けたSDGs活動の一環であり、当社の光触媒技術を世界に普及させる役割を果たします。

光触媒コーティングの作用



光触媒は「それ自体は変化しないが、光を受けることで反応を促進するもの」と定義づけられます。酸化チタンを主原料とする光触媒溶液は、太陽光や蛍光灯などから出る光線を当てることによって、その表面で化学反応を起こし、有機物などを分解する特徴があるとされています。
※すべての菌・ウイルスに効果があるわけではありません。

1日3分の“泡パック習慣”を新提案

マイクロ濃密泡で頭皮を洗う電動シャンプーブラシ『AWANIST(アワニスト)』

濃密泡と振動、赤色LEDを組み合わせた『AWANIST』は、手では作ることが難しいキメの細かいマイクロサイズの泡を簡単に作ることができる電動シャンプーブラシです。2023年4月に応援購入サービス「Makuake (マクアケ)」で先行販売を開始し、開始からわずか9分で目標金額達成を達成するなど、大きな反響をいただきました。

AWANISTの特徴

- 1 手では作りにくいキメの細かいマイクロ泡を15秒で生成
- 2 エルゴノミックデザインを採用。利き手に関係なく、人の手にフィットする形にこだわって設計
- 3 濃密泡で髪や頭皮をパックし、皮脂や老廃物を浮きあがらせて、汚れを落としやすく
- 4 泡のサイズに着目して開発し、髪と頭皮のことを考えたアミノ酸系の洗浄成分を主体に配合した専用のシャンプー&トリートメント



美容と健康の分野で、笑顔を届けられる商品を

美容の世界では髪や頭皮の問題が重要視されていますが、それが容易に解決できないことから商機が存在すると信じています。アワニストの開発は、約2年前のコロナ禍の始まりに始まりました。その頃、多くの人々が「美容室に行くのが不安だ」という声を上げていました。そんな時期だからこそ、遊び心を大切にしながらも自宅で楽しめる製品を考えました。Makuakeでの先行販売では、20~30代を主なターゲットに考えていましたが、思いがけず40~50代の男性や「両親に使ってあげたい」という方からも支持をいただきました。これからもアイデアからニーズを引き出し、皆さんの生活がより豊かになるような貢献をしていきたいです。



株式会社アデランス
e-ビジネス室
マネージャー
飯野 貴子

アデランスのSDGs活動の歴史

アデランスグループは、2023年で創業55周年。創業間もない頃より、様々な「社会的価値を持った活動」を国内外で産み続けてまいりました。



2021

アートを通じた障がい者の皆様の支援
障がい者アート作品展のサポート、CSR
コミュニケーションレポートの表紙絵や
ノベルティに障がい者アート作品を活用
などを進めています。

2002

病院内ヘアサロン

がん拠点病院を中心に病院内にヘア
サロンを展開。髪の悩みを抱える患
者さまや、来院されるご家族、医療従
事者などのあらゆる方に理美容サー
ビスを提供しています。



1983

人工毛髪の研究開始

人毛は調達方法について倫理的な問題が指摘さ
れることもあり、安定供給等の観点から人工毛髪
の研究を始め、人毛に劣らない人工毛髪の開発に
成功し、商品として提供しています。



1991

人工毛髪の商品化

人毛に劣らない人工毛髪の開発に成功し、
1991年より商品として提供しています。

全国技術競技大会

商品販売に加えてアフターサービスにも
力を入れており、お客様が長くウィッグ
をご利用いただくために理美容技術向上
を重要視し、スタッフ自身の技術を競う
全国技術競技大会を開催しています。

1980



環境にやさしい 「グリーンADフィッター」

オーダーメイドウィッグを作製する際
お客様の頭の形と自然な髪の流れを再現
できる「グリーンADフィッター」を開発。
環境に優しい素材として生分解性プラ
スチックを使用しています。

1995



健康の笑顔

社会の笑顔

地球の笑顔

地球の笑顔

- 2015 医療用ウィッグのJIS規格化
- 2017 キャンサーフィットネスのサポート
- 2018 新発想の医療用ウィッグ発売
- 2019 (米国)「Keep A Breast」のサポート
- 2022 毛髪によるWell-being領域

- 2011 病院内ヘアサロンの海外展開
- 2012 (英国) My New Hair への支援
- 2012 One World プロジェクトへの協力
- 2012 ピンクリボンのお宿ネットワークに協賛
- 2012 (米国) 乳がん研究会への寄付
- 2012 東京大学との共同研究
- 2013 大分大学との共同研究
- 2014 保険会社との提携

- 2002 病院内ヘアサロンの開始
- 2005 医療用ウィッグ接客のための医療接遇講習の実施
- 2006 大阪大学への寄附講座
- 2010 ピンクリボン運動への協賛
- 2010 (米国) 支援団体へのウィッグ寄贈

- 2002 フィリピン工場設立
- 2010 クレドを導入
- 2012 ラオスでの生産開始
- 2012 (タイ) 病院等へのウィッグ寄贈
- 2013 毛髪診断士の資格取得

- 2014 国連グローバルコンパクトに署名
- 2015 (米国) Pay It Forward

- 2020 コロナ関連の各種支援
- 2020 視覚障がい者向け化粧パレット
- 2021 アートを通じた障がい者支援
- 2021 (米国) DEIB 取り組み
- 2022 第三の機能性人工毛の開発

- 2017 全国ロープレ・スタイリング大会
- 2017 ソーシャルプロダクツ賞を受賞
- 2018 (タイ) 福祉支援自動販売機の設置

- 1970 業界団体 現 日本毛髪工業協同組合 設立協力
- 1974 人工皮膚ウィッグを発売
- 1978 型取り(フィッター)を開発

- 1980 全国技術競技大会を開催
- 1981 国内自社生産工場の設置
- 1983 人工毛髪の研究開始
- 1986 タイ工場設立

- 1991 人工毛髪の商品化
- 1999 タイ工場でのISO9001取得

1970年代

1980年代

1990年代

2000年代

2010年代

2020年代

- 1978 愛のチャリティ
- 1980 クリスマス・サンタ企画(現 サンタスマイル活動)
- 1983 劇団四季ミュージカル『キャッツ』日本初演
- 1985 スタジオADによる文化芸能活動の支援
- 1995 型取り(フィッター)に環境にやさしい生分解性プラスチックを採用
- 1995 Hair Club For Kids
- 1999 タイ工場でのISO14001取得

1978



愛のチャリティ
1978年から続く、笑顔とよこ
びを広げるアデランスのCSR活
動の原点。「お子さまの髪の悩み
を心の傷にしないために」をテー
マに、ウィッグをプレゼント。

1983



エンターテインメント
ウィッグの提供
劇団四季によるミュージカル
『キャッツ』に協力。激しいダンス
の動きに耐えるウィッグを開発。

- 2006 節水用シャワーヘッドの導入
- 2008 (タイ) 工場周辺のゴミ拾い
- 2009 フォンテーヌ緑の森キャンペーン
- 2009 アデランス・タイ社での学校内植林
- 2012 LEDを活用した店舗へ
- 2012 (タイ) ウィッグ製作時の廃材の利用・植林
- 2014 3D型取りシステムを導入
- 2016 オーガニック認証商品の販売
- 2017 フォンテーヌ緑の森キャンペーン 日本全国規模の環境保全活動に拡大

- 2011 (英国) The Little Princess Trust への支援
- 2013 輝く女性への応援(現 輝く人への応援)
- 2014 東京工業大学との学術契約締結
- 2015 NPO法人JHD&Cへの協力

2009

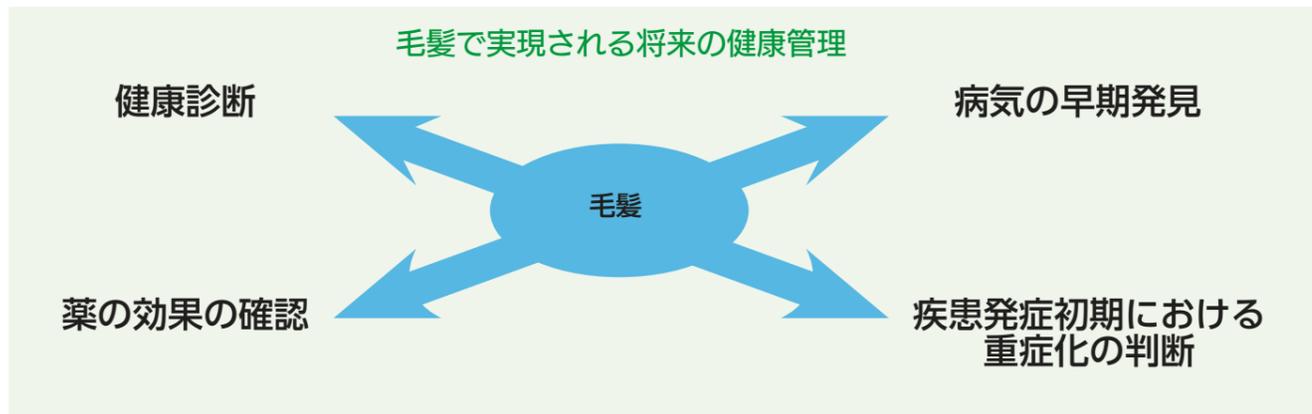
フォンテーヌ緑の森キャンペーン
ウィッグの回収と環境保全を結びエコサイクル

- 2020 石灰石を使った新素材 LIMEX を活用
- 2022 環境配慮のSDGs視点 新商品ウィッグ

- 2020 光触媒事業の開始
- 2021 (米国) HairClub Cares: Christmas Toy Drive
- 2022 JHD&C/資生堂と 医療用ウィッグを共同開発

毛髪診断の社会実装

毛髪を見ることで健康状態を把握できる新手法の確立



人生100年時代、健康寿命の延伸及び健康格差の縮小の実現に向けて、生活習慣病の疾病予防、重症化予防に対し、健康診断の大きな役割が期待されています。しかし、健康診断にはいくつかの課題があり、今後更なる進化が求められています。

例えば、健康診断の検査項目である「採血検査」や「尿検査」などは広く普及している検査手法ですが、これらの検査は、直前の食事内容や水分摂取量等の影響を受けて結果が変動するため、得られるデータが不安定であるといわれています。さらに、健康診断を受けるには病院や健診センターに行かなければいけないといった課題もあります。

そこで、アデランスグループは、毛髪を用いて、科学的な根拠に基づく、安定した健康管理指標の確立に向けて研究に取り組んでいます。毛髪検査は、病院に行かなくても毛髪を郵送するだけで検体が受渡できる利便性や、血液や尿よりも長期間安定した健康データの取得が可能といったメリットがあると考えています。ほぼすべての女性が訪れる美容室を将来のウェルビーイングの中心地とし、毛髪検査技術をビューティからヘルスケアへ展開し、最終的には社会課題に取り組むことを目指しています。

毛髪から健康管理ができる

毛髪には様々な成分が含まれており、その成分を活用した新しい健康管理のための技術開発に取り組んでおります。自分でも気付けないような"身体からの危険信号"を読み取る仕組みの開発ができれば、病気の早期発見・早期治療につながり、現代の超高齢化社会やダイバーシティにおける、人々の健康増進、生き生きとした社会につながると考えております。

株式会社アデランス
研究開発部

大学等との産学連携

アデランスグループは、大学研究機関等との産学連携により様々なテーマの研究を進め、毛髪分野に関する新たな知見を探っています。アカデミックな助言や裏付けの取れたデータを元にした育毛や毛髪研究の成果などを活用し、お客様の喜びの輪を広げていきたいと考えています。

毛髪関連学会への協賛とセミナーの提供

看護工学会、日本臨床毛髪学会、日本がん看護学会、日本皮膚科学会、日本毛髪科学研究会、世界毛髪研究学会等に対し、毛髪に関する学術研究会議へのセミナー提供やスポンサーといった協賛活動を実施しております。

健康の笑顔

活動テーマ

多くの人が健康であること

- ・毛髪を通じた健康課題の解決
- ・毛髪周辺領域での潜在課題の解決

アデランスグループは、トータルヘアソリューション企業のリーディングカンパニーとして、世界各国で毛髪に悩む人々へ笑顔を届けるため、自社研究開発はじめ、大学との産学連携やパートナー企業との共同研究開発を積極的に推進し、画期的な人工毛髪や医療用ウィッグの研究、育毛・ヘアスカルプケア関連研究、抗がん剤脱毛抑制研究など、毛髪を通じた健康課題の解決を推進しています。

がん患者さまなどへの支援

がんと共に生きる社会において一人ひとりがいきいきと過ごせるように

がんは、日本において日本人の死因の第1位で、生涯のうちにかんにかかる可能性は、男性の2人に1人、女性の3人に1人と推測されており、日本だけでなく、がんに罹患する人、そしてがんにより死亡する人は世界的に増加しています。また、がんからの生存率は改善が続けられており、早期発見、治療環境、患者さまやご家族の悩みのケアなどの取り組みが重要となっています。(出処：厚生労働省「がん対策政策レポート」など)

アデランスグループでは、このような、がんと共に生きる社会において、一人ひとりが、いきいきと笑顔で過ごすことのできる社会の実現に向けて、国内外でさまざまな活動を進めています。

病院内ヘアサロン



当社は髪を通じて心の健康をサポートする医療事業活動に積極的に取り組み、その一環として病院内理美容室(ヘアサロン)を、2002年に開設し、現在では全国で35店舗(2023年8月現在)となりました。

病院内ヘアサロンでは、一般的な理美容サービスのほかに、医療用ウィッグ及び他社商品のアフターケア、抗がん剤治療に伴う副作用の脱毛時のご相談や外見支援のご相談により、患者さまのQOL(Quality of Life)の向上に向けたサービスを提供しています。

医療用ウィッグのJIS規格化

日本毛髪工業協同組合が申請したJIS原案が経済産業省の審議を経て、2015年4月20日、ウィッグとしては世界初の国家規格として制定されました。JIS規格化にあたって、アデランスグループは、業界のリーダーとして中心的な役割を担ってきました。今回のJIS規格化により、医療用ウィッグの品質に関する基準が明確となり、お客様に安心してご購入いただけるようになりました。

※この製品は、病気の治療や予防の効果を有するものではありません。

医療接遇講習

病院内ヘアサロンに勤務するスタッフや、病院を訪問させていただくスタッフをはじめとする、患者さまをお手伝いさせていただくスタッフには、患者心理やがんの基礎知識などの講習を義務付けています。

外部専門講師による医療接遇講習は、VOL-NEXT社(がん患者サービス事業会社)により実施され、2005年以降の累計1,274名の社員が受講しています。(2023年12月末日現在)

ヘアロス啓発イベント 2023 「Alopecia STAND UP!」に参加

様々な理由によって髪に起こる脱毛症や抜毛症などの症状やその状態であるヘアロスに関して、より多くの人に楽しみながら知ってもらうことを目的として、2023年9月23日(土・祝)に開催された特定非営利活動法人 Alopecia Style Project Japan(ASPJ)が主催する「Alopecia STAND UP!」に参加し、ヘアロスパレードへの参加や、当社のウィッグを着用したファッションショー、ウィッグの試着体験などを実施しました。



着け心地、被り心地全てが本当に良くて、最高で素敵なおしゃれなウィッグでした!! 髪の毛がないからといっておしゃれを諦めるのではなく、ウィッグがあるからこそ、よりおしゃれになると感じました。

高校生モデル
momokaさま



ヘアクラブ社) Breast Cancer Walk

「Making Strides Against Breast Cancer walk」に参加しました。乳がんサバイバーや患者、介護者、そしてその家族や、活動に賛同する個人が、乳がんの治療と啓発のために参加するイベントで、American Cancer Societyによって主催されました。

毛髪に関するすべてのお悩みをワンストップで解消

株式会社Policy Company(本社:東京都中央区、代表取締役:西田 一人)と2023年8月22日に業務提携を締結いたしました。Policy Company社のクリニック運営サポート、マーケティングノウハウを活用し、AGA・薄毛治療に興味をお持ちのお客様に対し、クリニックの受診ができる仕組みをPolicy Company社と共に構築してまいります。

主に関連するSDGs



活動指標

JIS申請の医療用ウィッグ(累計)

2015年

26種類

※医療用ウィッグ以外も含めるとJIS申請数は28

現在

(2022年)

72種類

※医療用ウィッグ以外も含めるとJIS申請数は178

2030年

122種類

「誰も置き去りにしない」社会へ

内閣府の「令和5年 障害者白書」によると、日本の障がい者の人数は964万7千人で、日本国民の7.6%が何らかの障害のある人という計算になります。また、厚生労働省の「令和4年 障害者雇用状況の集計結果」によると、民間企業における雇用障がい者数は61万3,958人となっており、実雇用率は2.25%で、法定雇用率達成企業の割合は48.3%に留まっています。

アデランスグループでは、障がい者を含めた多様な人が安心して暮らせ、活躍できる社会作りに向けて、日本だけでなく世界でのグループ会社でも、様々な取り組みを進めています。

アートを通じた障がい者の皆様の支援

多様な個性に寛容なインクルーシブな社会の実現を目指し、障がい者の皆様の経済的自立、社会参加を目的とした支援を行う障がい者アート活動に賛同した取り組みを行っています。

支援の取り組みの第一弾として、2021年のCSRコミュニケーションレポートの表紙絵より、障がい者アートの作品を活用させていただきました。

2022年では、CSRコミュニケーションレポートの表紙絵のほかに、障がい者アート作品を活用したお客様向けノベルティ、2023年会社カレンダーなど、コラボレーションが広がってきています。



2023 パラアート TOKYO にて「アデランス賞」を受賞された村木慧様(写真:右)



2024年のカレンダーに障がい者アート作品が登場

視覚障がい者の発案から生まれた

ユニバーサルデザイン化粧パレット『BLINDMAKE UD パレット』を開発



これまで医療用ウィッグ開発において患者さまの“外見ケア”と向き合ってきたアデランスでは、外出を控えてしまう、人に会いづらい、心理的にふさぎ込んでしまうなど“ルックスケア”に悩みを抱える視覚障がい者の方々にメイクを用いて応援したいという想いのもと、化粧パレット『BLINDMAKE UD パレット』を開発し、どんな方にも使いやすいユニバーサルデザインを採用しています。商品化にあたっては、一般社団法人日本ケアメイク協会で「BLINDMAKE」を広める活動を行う視覚障がい者の方々と共同で開発を行いました。

ラオ・クオリティ社) 障がい者雇用の推進事業を開始

ラオスにて、主にオーダーメイド・ウィッグを生産・輸出しているラオ・クオリティ社(LQC)ではラオス障がい者女性協会と提携し、障がい者女性・障がい者のご家族である女性・貧困で社会的、経済的に不利な状況に置かれた女性のために、植毛技術訓練研修を実施しています。

民間企業による障がい者雇用への取り組みがまだ一般的ではないラオスで、当社が率先して本取り組みを行うこと、また障がい者が働きやすい環境を整備し、障がい者雇用を促進することは、当社にとっても地域社会にとっても大変有意義なことです。

アデランス・タイ社) 不要カレンダーで盲目団体をサポート

アデランス・タイ社では、使われなくなった卓上カレンダーを回収し寄付する、「タイ国盲目者支援団体」へのサポートを、2022年より行っています。集まったカレンダーは、点字教材へと生まれ変わります。



働きがいのある環境へ

アデランスグループでは、一人ひとりが働きがいを感じ、心身ともに健康で充実した暮らしを実現するとともに、事業を通じて多くの笑顔に社会に届けたいと願っています。とくに、商品を販売するだけでなく、アフターサービスに注力しており、社員の理美容技術を高めることが、お客様にウィッグを笑顔で使っていただくだけでなく、社員の笑顔にもつながると考えています。

アデランス大学の設立・運営



2022年7月に、社員向けの自己啓発型eラーニング「アデランス大学」を社内で設立し、個々の能力を最大限に引き出し、成長を促進する人材開発プログラムを進めています。定期的なトレーニング

AD ベネルクス社) スペシャリスト養成のためのトレーニング

毛髪・理美容分野における最新技術の最前線にいる企業として、ウィッグ・スペシャリストの養成を行っています。初心者の方には、プロフェッショナルになるための基礎コースを、経験豊富な方向けには、さまざまな最先端の知識や、カットやスタイリング技術等を学ぶコースなどを提供しております。

全国技術競技大会を開催 接客力や技術力を競う社内大会

「アフターサービスを大切にしたい」という創業者の思いから、1980年より全国の当社店舗のスタッフが、それぞれの技量を競い合う、全国技術競技大会を開催しています。2023年では28回目の開催となり、全国のアデランス、レディスアデランスの店舗などで働く理美容師の資格を有する者(908名)の中から、各部門の優勝者を決定しました。



<スタイリング部門>優勝作品



<フリースタイル部門>レディス部門優勝作品

社会の笑顔

活動テーマ

健全な社会であること

- ・地域社会・コミュニティとの連携
- ・社会を配慮したユニバーサルデザイン
- ・働きがい・人財育成・ダイバーシティ&インクルージョン

アデランスグループでは、約6,700名の社員が、19の国と地域で国内約500店舗、国外約300店舗を中心に、グローバルな活動を広げています。国籍やジェンダー等を問わず多様な価値観や考えを持った社員が、個性・能力を最大限に発揮することで、新たな価値を創造し続けることを目指します。また、各拠点を通じた地域社会との共生を進めています。

主に関連するSDGs



活動指標

アデランス独自の毛材の種類のがり

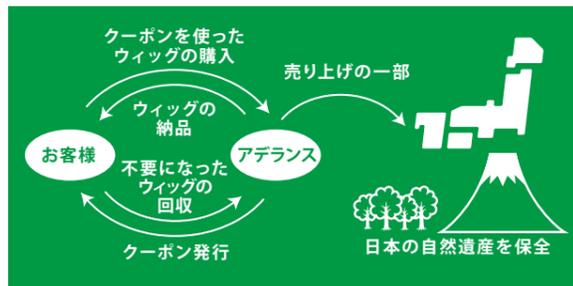


アデランスでは、お客様お一人お一人違うご自髪を再現することでご満足いただくためにも、自社での人工毛髪の研究開発に取り組み続け、自社生産しております。ウィッグに使用する毛材の安定供給は、調達・生産過程、理美容の技術者、そしてお客様をはじめとする多くの笑顔の広がりにつながると考えています。

ウィッグの回収と環境保全を結ぶエコサイクル 2009年のキャンペーン開始から15年目

フォンテーヌ緑の森キャンペーン

当社の主力商品であるウィッグは、約80%以上がポリエステル由来の人工毛髪で作られているため、お客様がご使用されたあと、家庭ごみとして廃棄されると、CO₂の発生が危惧されます。そのようなウィッグを回収して、当社が適切な廃棄処理を行うことで、環境負荷への影響を低減することができるのではという思いから始まったのが「フォンテーヌ緑の森キャンペーン」です。



環境保全面積 (累計)	
2009年度:	406 m ²
2010年度:	1,813 m ²
2011年度:	2,063 m ²
2012年度:	2,531 m ²
2013年度:	3,469 m ²
2014年度:	5,013 m ²
2015年度:	6,825 m ²
2016年度:	7,875 m ²
2017年度:	12,459 m ²
2018年度:	22,776 m ²
2019年度:	24,083 m ²
2020年度:	25,089 m ²
2021年度:	25,989 m ²
2022年度:	26,989 m ²

「緑の森キャンペーン」全国展開 第2弾
「静岡県立森林公園」でのアカマツ林再生活動 民間企業として初サポート



2019年より、新たな環境保全先として、「静岡県立森林公園」(浜松市浜北区尾野)でのアカマツ林再生活動への協力を民間企業として初めて開始しました。

同地では、アカマツ林を主体とした自然の景観として県民に親しまれ、また環境省からも「生物多様性保全上重要な里地里山」として選定されるなど、希少生物の生息地としても評価されています。

しかし、2011年の東日本大震災の影響で、松くい虫防除剤の空中散布用のヘリコプターが確保できず、松くい虫の被害が激増。そのため、園内の広範囲に純林として存在していたアカマツ林が、10年前の約1/3程度にまで減少しています。

こうした状況を鑑みて同地のアカマツ林再生活動への協力を決定しました。アカマツ林の再生には数十年を要します。2018年に50周年を迎えた当社が次の100周年に向けて、同地のアカマツ林が再興できるようサポートしています。コロナ禍でも感染対策に留意しながら活動を継続し、2023年1月では、感染対策を行った上で、静岡県立森林公園で100本のアカマツの苗木を38名の社員が植樹活動に参加しました。



10万枚のウィッグを回収

キャンペーンを開始して13年目の2021年には、お客様より回収させていただいたウィッグが10万枚を超えました。

環境に配慮したウィッグの廃棄

お客様がご利用になられなくなったウィッグは、当社が回収し、環境に配慮した適正な廃棄を行っています。産業廃棄物処理会社(J&T環境 川崎エコクリーン工場)と契約し、CO₂の削減に努めるなど、環境に配慮する形で進めています。



お客様に商品をお渡しするまでの環境配慮の取り組み

オーダーメイド・ウィッグ ご注文から商品をお渡しするまでお工程



主に関連するSDGs



活動指標

環境保全面積 (累計)

2009年

406m²

現在
(2023年)

26,989m²

2030年

30,000m²

地球の笑顔

活動テーマ

地球が永遠に続くこと

- ・環境汚染予防
- ・環境負荷の低減
- ・資源循環型社会の実現

アデランスグループは、「環境」を企業の社会的責任の一つと考え、商品の環境対応や事業所での環境負荷の低減など、経済と環境が両立する持続可能な社会を創造できるよう、環境に配慮した活動に取り組んでいます。

子どもたちへのサポート

子どもたちの未来の可能性をもっと広げたい

アデランスグループは、さまざまな要因で困難な状況にある子どもたちの支援に、国内外で取り組んでいます。これらの取り組みを通じて、未来を担う子どもたちに、一人でも多くの笑顔が溢れることを願っています。

愛のチャリティ 1978年から続く アデランスの CSR 活動の原点

当社は、1978年から「愛のチャリティ」を実施しています。これは「お子さまの髪の毛を心の傷にしないために」をテーマに、病気やケガなどの理由でウィッグを必要とするお子さま（現在は4歳から15歳までが対象となります）が笑顔を取り戻していた

年度	贈呈数
2013	172 枚
2014	265 枚
2015	343 枚
2016	336 枚
2017	315 枚
2018	330 枚
2019	308 枚
2020	333 枚
2021	386 枚
2022	369 枚

だけのよう、売上金の一部を活用しウィッグをプレゼントするという活動です。当初はクリスマスの時期に限定していた活動でしたが、2012年9月から通年のものとなりました。2014年3月からは、従来のオーダーメイド・ウィッグだけでなく、レディメイド・ウィッグ（既製品）も、プレゼント対象に加わりました。

ヘアクラブ社)HairClub For Kids

米国ヘアクラブ社は、「愛のチャリティ」と同様のサポート活動として、6歳から17歳の髪に悩む子どもたちにウィッグをプレゼントする「HairClub For Kids」を行っています。1995年からスタートし、27年継続して提供しています。



アデランス UK 社・ドイツ社・スウェーデン社) 「The Little Princess Trust」への支援

アデランスグループでは、「The Little Princess Trust (以下LPT)」の活動に2011年から協力しています。

LPTは、英国で最も有名なチャリティ団体のひとつで、がん治療などで髪を失った子どもや若者（24歳まで）への人毛ウィッグの無償提供や、小児がんの研究への資金援助をしている団体で、英国で唯一MBEを授与された慈善団体です。

アデランスUK社では、ウィッグの提供やヘアドネーションのサポートのほか、団体と協働したイベントを開催したり、LPTのための特別サービスを提供しています。

NPO 法人 JHD&C への協力

当社は、2015年3月より NPO 法人 Japan Hair Donation & Charity (JHD&C = ジャーダック) の活動に協力しています。JHD&Cは、ヘアドネーション（髪の毛の寄付）によって制作した人毛100%のオーダーメイド・ウィッグを、病気などでウィッグを必要とする子どもたちに無償提供している NPO 法人です。

(JHD&Cと当社の連携例)

- 2015年3月～: 協力開始
- 2016年4月～: ウィッグの制作協力
- 2018年9月～: ヘアドネーション支援自動販売機を設置
- 2018年10月～: 当社サロンなどを賛同美容室として登録

アデランス × JHD&C × 資生堂 医療用ウィッグを共同開発

当社と JHD&C、資生堂3者の、一人でも多くの髪にお悩みをもつ方の力になりたいという思いが一致し、より自然な黒髪を表現するために、人工毛髪を当社オリジナル配合比でブレンドした医療用ウィッグ「wig+(ウィッグプラス)」を共同開発し、2022年11月より販売開始しました。3者の役割は、JHD&Cが企画、当社が製造を担当し、資生堂がヘアデザインの監修、そしてオリジナルのバングメソッドを活用したヘアアレンジの提案を行います。当社と資生堂は CSR 活動の一環としてノウハウを無償提供しました。

wig+



サンタスマイル活動

クリスマスの時期に、自宅に帰れないお子さまのために病院を訪問し、プレゼントをお渡しする「サンタスマイル活動」を30年以上継続しています。



芸術文化活動

毛髪・ウィッグ領域でのエンターテインメント業界をサポート

アデランスでは、ウィッグを多彩な文化芸術活動に提供することで、エンターテインメント業界の発展に貢献するとともに、ウィッグ文化の普及に努めています。

アニメ放送 40 周年記念『超キン肉マン展』 人気キャラクター「アデランスの中野さん」の“髪”の製作に アデランスが協力

アニメ放送40周年記念『超キン肉マン展』に、展示の制作協力をし、「キン肉マン」に登場する人気キャラクター「アデランスの中野さん」の“髪”を、当社の文化芸術部門「スタジオAD」が人毛と人工毛髪を使用して忠実に再現しました。



『超キン肉マン展』の開催にあたり、企画制作を担当する東映株式会社より「アデランスの中野さん」の髪を再現できないか、とご相談をいただいたことから、当社の「スタジオAD」が製作に協力することとなりました。製作にあたっては、髪質、髪色などもアニメ当時の髪型を再現し、リアリティを追求しました。

輝く人への応援

当社は、自分らしく生き、今を輝いて活動される人々を、毛髪・ウィッグを通じてサポートしています。

書道家 永田 紗戀 様

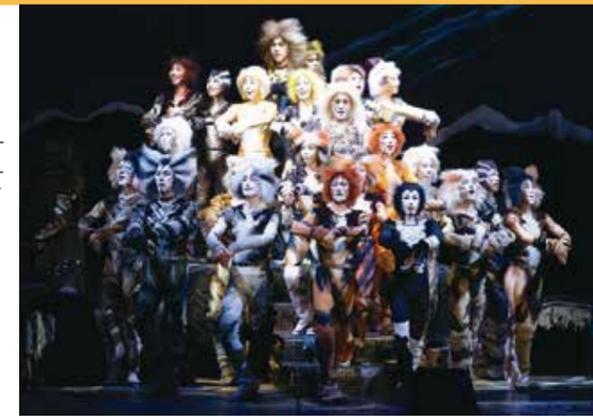


永田紗戀様は、書道の枠を超えた唯一無二の自由な作風が多くの人から支持されているアーティストです。個展やパフォーマンス等活動は幅広い中、近年はレッスンが人気で延べ指導人数は10,000人を超え、日本全国に教室が展開されています。

タンゴ歌手 冴木 杏奈 様



冴木杏奈様は、タンゴ界において新しい感性の歌手として、世界各国で高い評価を得ています。2022年には、デビュー35周年記念の年間公演や、アルゼンチンで出演したフェスティバルなど、様々なウィッグで国内外のステージをサポートさせていただいています。



スタジオAD
ウィッグとヘアメイクのエキスパート集団
～エンターテインメント業界を支えて40年～

当社は、ウィッグを多彩な文化活動に提供することで、ウィッグの持つ可能性を広げています。中でも文化芸術部門であるスタジオADは、日本を代表する舞台芸術・映像作品を手掛けています。

1983年にミュージカル『キャッツ』が劇団四季によって日本で初上演されました。『キャッツ』の激しいダンスの動きに耐えるウィッグは、劇団四季のヘアメイク・衣裳デザイン担当者と当社スタッフが協力して開発したものです。その後、当社独自の芸能用ウィッグは、『オペラ座の怪人』、『クレイジー・フォー・ユー』といった日本を代表する舞台に採用され、その他多数の分野で芸能用ウィッグをご使用いただいています。

ウィッグを着用して新たな魅力の引き出し方を競う 「フォンテーヌ ビューウィッグ賞 by アデランス」

2023年7月7日（金）、ベリシマジャパン株式会社主催の「ミセスユニバースジャパン2023」において、アデランスが協賛し、「フォンテーヌ ビューウィッグ賞 by アデランス」のグランプリが決定しました。事前審査で選ばれた5名の候補者が、アデランスを代表するウィッグデザイナーNORIKOによってアレンジされたウィッグを身に付けて登場し、ランウェイでのウォーキング審査や「ウィッグで楽しむ私のヘアファッション」をテーマにしたスピーチ審査が行われました。審査は美と健康のスペシャリスト6名により行われ、心理カウンセラーの三善さおりさんが、社会貢献への思いや行動力、ウィッグを楽しむ姿勢などの視点から評価され、グランプリに輝きました。



グランプリに輝いた
三善 さおり さん

未来の笑顔

活動テーマ

明るい未来を広げること

- ・文化の発展
- ・持続可能な社会に向けた取り組み
- ・子どもたちへのサポート

近年、社会は大きく変化し、またその変化の速度も早まり、それに伴い社会的課題も複雑化しています。アデランスグループは、「笑顔」や「よるこび」があふれる未来の実現をめざし、当社の強みを活かせる領域での課題解決を通じて、未来につながる価値への取り組みを進めています。

主に関連するSDGs



活動指標

アデランスグループのお子様へのウィッグ寄贈数（累計 / 概算）（愛のチャリティとHairClub For Kids）

2012年
4,452 枚

現在
(2021年)
22,910 枚

2030年
39,600 枚

* HairClub For Kidsはグループ化した2013年からの累計値

ステークホルダー・ダイアログ

今回は、当社の社外取締役である高野一彦関西大学教授を、外部の有識者としてお招きして、「リーガル視点から企業価値創造をサポートする」をテーマに「ステークホルダー・ダイアログ」を実施しました。（実施日：2023年9月25日）

箕輪：今回のステークホルダーダイアログは、企業成長を法的視点で支えていく法務部の役割について、リーガルチェックチームと高野先生と話していければと思います。

高野：企業における法務の役割というのは、時代とともに変遷してきました。1980年代の法務というのは経営上そこまで重要と覚えてないところがありました。1990年代後半から2000年にかけて「戦略法務」と言われるような、経営戦略の中で法的なリスクをいかに対応していくのかという流れができました。

箕輪：まさに先生がおっしゃったように感じていて、私が法務の部長になった意義はそこだと思っています。法務のリーガルの視点が経営計画の成功にも直結するので、他部署との連携を強化し、会社の方向性を明確に伝える役割を果たしています。リーガルチェックチームの皆さんはどのように感じられていますか？

秋田：私は、アデランスの法務部にこれまで8年間勤務しています。今までは、主に予防法務を担当し、契約書や表示物のチェックをしたり、長い間同じことをしています。2年ほど前に箕輪役員が担当部長にいられてから、法務部としての動き方が変わり、「私達の言葉が担当部署に届いた」ということを最近感じています。

高野：素晴らしいですね。



株式会社アデランス
社外取締役
高野 一彦

・関西大学 社会安全学部・大学院
社会安全研究科
教授・博士(法学)
・日本経営倫理学会 常任理事
・一般社団法人 経営倫理実践研究センター
上席研究員
・NPO法人 日本経営倫理士協会 理事



秋田：社内の相談者と打ち合わせをすることがあり、その時に箕輪役員が同席して、一言いただけるということで、空気が変わります。それから、話がトントン進んでいく。「なかなかこれは伝わらない」と長年思っていたことが、「伝わるんじゃないかな」「もっと入りこんでいこう」という気持ちになってきました。

加藤：そうですね。秋田さんもおっしゃってましたが、社長や役員を含めた会社、もしくは担当者の方にも、声が届くようになったな、と感じています。その結果、経営判断に法務として言うべき事をちゃんと伝えて、それを理解されたうえで判断していただけることになってきているのではないのでしょうか。問い合わせなどにも積極的に応じて、普段から相談しやすい、という環境づくりを意識することがとても大事なことだと思っています。以前と比べても、直接話しに来てくれる人も多いですし、すごく話ができるようになったな、と実感していますので、このまま続けていきたいと思っています。

秋田：今までは、契約書や表示物のチェックで「これは修正が必要です」くらいで止まっていたことが多かったのですが、最近では、代案として「こういうものが考えられます」というものも提案するようにしています。

高野：「それはだめです」という機能しかない、従前の法務のスタイルの会社は、まだまだあります。「法的にはこういう選択肢がありますがどうしますか」と代案を提案する機能は、かなり進んでいると思います。当社の法務が大きく変わってきたのは、「経営判断としてこうしたらどうでしょうか。」という提案ができていて、という点が大いではないのでしょうか。法的な判断のみならず、判断を踏み込んで経営的な判断まで法務がアドバイスをしている。これは非常にレベルが上がってきているのではないのでしょうか。



『法務部ポータル』
法務部に関する社内情報を一元化し、社員のアクセスを容易に。法的な事前知識を共有し、一般的な内容も含めて情報を発信中。

渡辺：社内イントラ上に「法務部ポータル」を設置して、法務部に関連する情報の公開手段を一本化することで、社員が知りたい情報にアクセスしやすくなるようにしました。情報発信という面で、自分たちがやってることの内容を伝えるためには、その事前に前提知識をすり合わせる必要がやはりあると思うので、一般的な内容も含めて情報を発信しています。

箕輪：「法務部ポータル」は、意味は大きいと思っています。例えば「契約書ってこういうものですよ」とか「稟議書ってこんなもんなんですよ」というのを、担当者の言葉で発信することで、読む側が法務にもう一歩近づける。同じような動きが知的財産室でもあることがうれしく思います。知財も法的に会社を守ってくれる部署なので、すごく良いキャッチボールができていないかと思っています。

高野：どうしても法律と聞くと、「ちょっと固いよね」「難しいよね」というイメージがありますものね。

秋田：最近では「一緒に会議に参加してもらえませんか」などと声を掛けていただくことが増えました。とくに今年には本社移転で、座席がフリーアドレスとなり、そのような依頼が増えてきました。



箕輪：もともと当社の法務部は真摯に相談に乗ってくれる風土がありました。相手がこちらに相談を寄ってきやすい環境づくりとして、私自身がいろいろな部署に「どんどん法務部に相談して」と声を掛けています。どうしても法務の人間は、なかなか商品を見る機会がなく、契約書などの文章情報で商品を見てしまいがちです。現場との会議に参加させてもらうことで、商品理解にもなります。「こんな思いで商品を開発した」「こんな思いで販売しようとしている」「販売するためにここまで考えているのか」と、「どういう気持ちで相手は対応したのか」ということまで見えてきます。商品を理解して、営業を理解して、その上で法的リスクを軽減する。大変だとは思いますが、強い組織になると思います。

秋田：企画の段階から「こういう訴求をしたい」から「こういう証拠を揃えよう」というスタートのところから、法務部が入るといいう仕組みが動き始めている段階です。

高野：商品を理解し、特性とリスクを把握したうえで、リーガル視点でサポートすることは重要なことだと思っています。素晴らしい姿勢です。

加藤：自分にとって当たり前のことでも、部門や立場が違えばそのあたり前は変わってきます。もっと会社や事業のことを理解して、契約書や広告を確認するときに広い視野をもって対応できればと思っています。

渡辺：適切なコミュニケーションをとっていけるような役割も果たし、もっと信頼される法務部になりたいです。

高野：これから新しい事業がどんどん出ていくなかで、どのように法的なリスクをヘッジしながら、事業の成長を手助けしていくのか、ということを法務が考える時代になっています。そのためには、事業部の信頼を得ることが重要なのですが、当社は、そういう域に達してきているということ、本日のお話を聞いて感じました。

CSR 広報

アデランスグループのCSR活動や取り組みを多くの方に知っていただくため、イベント等での講演、新聞等からの取材、書籍へのケーススタディの執筆、学術論文での研究対象としての協力などが進んでいます。

朝日地球会議に特別協賛



朝日新聞社主催の「朝日地球会議」の趣旨であるSDGsの考え方に、当社は深く共感し、2018年から5年連続で特別協賛しました。2023年は、当社代表取締役グループCEOの津村 佳宏が「髪に向き合い55年『人生100年時代』への航跡」と題し、ウェルネスカンパニーとして「人生100年時代」に寄与すべく邁進する当社の過去と現在、未来図をお話する特別講演を行いました。

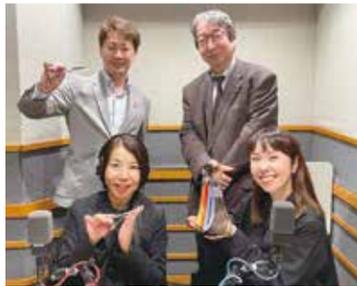
書籍への掲載

「入門 ビューティービジネス」



山野美容短期大学におけるCSRに関する講演の内容が、上記書籍に掲載されました。

CSR ラジオ放送「笑顔のつながり」



当社のCSR活動を多くの人々に知っていただくことを目的に、コミュニティFMを通じたCSRラジオ「笑顔のつながり」を2018年9月より放送。当社の象徴的なCSR活動をラジオパーソナリティの河村由美さんと共に紹介しています。

Webメディア『CSRの品格』



株式会社ベストセラーズ(KKベストセラーズ)が運営するWebメディア『BEST TIMES』に、『CSRの品格』の連載をしました。『CSRの品格』では、上席執行役員 箕輪 睦夫をホストに、各回でゲストを招き、CSRについて考える対談コラムです。

関西大学にてCSRに関する講義を実施



当社は関西大学でのCSR講義を2013年から継続しており、関西大学高野教授のゼミとBERC 寄附講座でCSRに関する講義を実施。高野ゼミでは当社の企業特性やCSR活動を学生が分析し、質疑応答も。BERC 寄附講座には約200名の学生が参加し、高野教授や当社からの登壇者が、「三方よし」の哲学や「アデランスグループのSDGs取り組み」について講義しました。

(CSRに関する講演回数)

	2	2	2	2	2
	0	0	0	0	0
	1	2	2	2	2
	9	0	1	2	3
大学でのCSR特別講義	10	3	2	3	4
一般向けセミナー	5	1	3	1	1

(2023年10月末現在)

知れば知るほど、奥が深いアデランスのCSR

アデランスは誰もが知っている大企業。けれどこんなに人に寄り添う考えを核に置く企業だと、いったいどれ程の人が理解しているのだろうか？社員の方々が“常にお客様の笑顔のために誇りをもって取り組んでいる姿”に触れ、もっとアデランスのCSRを知ってほしいと思いました。アデランスのCSRは、知れば知るほど、その言葉以上に深く愛にあふれるものだと感じます。それをリスナーの皆さんに届けたいと思いながら思いながら番組制作をしています。

株式会社ミュージックバード
ディレクター
佐藤 よりこ 様

第1回目ゲスト
関西大学 社会安全学部・大学院
社会安全研究科 教授 高野 一彦 様
第2回目ゲスト
合同会社ツバルの森 代表社員 三嶋 浩太 様
第3回目ゲスト
「笑顔のつながり」ディレクター 佐藤 よりこ 様

以下のURL/QRコードにてご覧いただけます。

朝日地球会議
<https://www.asahi.com/ads/awf2023/aderans/>



「朝日地球会議」は、国連が掲げた「持続可能な開発目標(SDGs)」への道筋を、国内外から招く政治、経済、科学技術分野の有識者やオピニオンリーダー、企業人と話し合う、朝日新聞社主催のイベントです。

「おはようサンデー」
<https://musicbird.jp/cfm/timetable/ohasan/>



「おはようサンデー」
毎週日曜日 朝7時～8時55分
全国のコミュニティFM放送局にて放送
「笑顔のつながり」は番組内8時30分～45分のコーナー (第3・4日曜)

Webメディア『CSRの品格』
<https://www.kk-bestellers.com/?s=CSRの品格>



目次

会社紹介

会社情報	1
トップメッセージ	2
沿革	3
国内事業	5
海外事業	7
グループ生産拠点	9
コーポレート・ガバナンス	10
特集：アデランスのSDGs	11
特集：アデランスのSDGs活動の歴史	13
象徴的な活動	
健康の笑顔	15
社会の笑顔	17
地球の笑顔	19
未来の笑顔	21
ステークホルダー・ダイアログ	23
CSR広報	25
目次など	26

企画・制作

株式会社アデランス グループCSR広報室
編集長 田中 優衣

アドバイス・サポート：ツバルの森

本レポートの表紙について



障がい者の方々の方々の自立を支援させていただくことを目的に、2021年のCSRコミュニケーションレポートより、障害をもつ人たちのアートを表紙絵として利用させていただいています。これからも様々な活動を通じて、豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えております。

私は魚が好きで、小さい頃から水族館で色々な魚を見ていました。私の作品「なかま」は、大きな波と水しぶきの中で色々な魚たちが、たくさん泳ぎ回っています。下の波は、青色系を塗って、波紋を丁寧に描き、大きな波には模様を少しずつ描いて、さわやかな青空のような色を塗り、きれいな水しぶきを付けました。工夫したのが魚です。カクレクマノミやカラダグラスなど、さまざまなたくさんの魚が、楽しく泳ぎ回っている風景を描きました。

2022 パラアート TOKYO 第9回国際交流展
アデランス賞 受賞作品「なかま」作者
大山陽菜 様

編集方針

「CSRコミュニケーションレポート2023-2024」発行にあたり

2023年、当社は創業55周年を迎えることになりました。社会の課題解決と事業を統合した企業経営が求められる中、当社は1968年の創業以来、お客様や社会の「笑顔」を増やすことに注力してきました。今後も、「自社の強みを社会で活かす」を根幹に、歩み続けていきたいと考えています。

当社は、本書の発行を通じて、当社の取り組みを開示し、ステークホルダーの方々の声を取り入れながら、活動をさらに進めていくための重要なツールと位置づけています。本書をご高覧の上、率直なご意見や今後の当社に期待されること、ご要望などを頂戴できれば幸いです。

報告書の対象期間と範囲

対象期間：2022年3月～2023年2月

ただし、特徴的で継続的な活動についてはこれ以降の最新の情報もご紹介しています。

対象範囲

株式会社アデランス及び主要グループ会社を含みます。

発行日

2024年1月(年1回発行、次回発行予定：2024年12月)

CSR 情報開示の体系

アデランスグループの様々な活動を、ステークホルダーの皆様へ情報を適切にお届けできるよう、「冊子版」と「Web」の形式でまとめています。

冊子版



冊子版では、「CSRレポート」[笑顔のために]の2誌において、特徴や進展のある活動内容をクローズアップして紹介しています。

Web



最新の活動状況、冊子で紹介していない活動内容や数値・データ等を集約し、開示しています。

<https://www.aderans.co.jp/corporate/csr/>

本書に掲載されている社名、団体名、商品名またはサービス名等は、各社・団体の商標または登録商標です。なお、本文等では、「TM」「®」は明記していません。



本書は、ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社 アデランス

グループCSR広報室

〒140-0002 東京都品川区東品川四丁目12番6号
品川シーサイドキャナルタワー

E-mail: pr@aderans.com

URL: <https://www.aderans.co.jp/corporate/csr/>



最新の活動状況、冊子で紹介していない活動内容などを、アデランスのCSRサイトでご紹介しております。



当社の個人情報保護の取り組みは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より個人情報保護の体制や運用状況が適切であると認定を受けています。今後も個人情報の取得・保護における細心の取り扱いを徹底してまいります。



2014年4月に国連グローバル・コンパクトに加入しました。社会の良き一員として、持続可能な成長を実現し、本業を通じて社会に貢献する「事業と一体となった価値共創型CSR」を積極的に推し進めています。



株式会社アデランスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

アデランスグループは、グローバルに事業を展開する企業として、SDGsで掲げられる、世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業を通じた社会課題の解決を図ることで、持続可能な社会の実現に寄与し、持続的な成長を目指してまいります。

外部団体および企業とのコラボレーション



JHD&C

Japan Hair Donation & Charity
Nonprofit Organization

特定非営利活動法人 Japan Hair Donation & Charity
団体の活動に賛同し、ウィッグの製作をサポートしています。

株式会社 資生堂

一人でも多くの髪にお悩みをもつ方の力になりたいという思いが一致し、JHD&C、アデランスとの共同プロジェクトにて、医療用ウィッグ[wig+ (ウィッグプラス)]を共同開発しました。



～みんなでひとつつながろう～

One World プロジェクト

「One World プロジェクト」(協力/公益財団法人日本対がん協会、後援/J-CAN)の活動に賛同し、東日本大震災で被災された、がん患者様のウィッグの「お手入れ支援サービス」を2021年6月末まで提供しました。



公益社団法人 日本毛髪科学協会

毛髪と皮膚についての正しい知識をお客様へお伝えできるように、公益社団法人日本毛髪科学協会に加入し、社員への毛髪診断士®の資格取得の推進に取り組んでいます。

毛髪診断士®は公益社団法人日本毛髪科学協会の登録商標です。



一般社団法人 日本毛髪工業協同組合

毛髪業界が健全に発展し、お客様からの信頼を得られるように、業界団体「日本毛髪工業協同組合」の運営に取り組んでいます。



株式会社 VOL-NEXT

がん患者の生活をサポート
株式会社 VOL-NEXT

株式会社 VOL-NEXT

患者様が安心して、医療用ウィッグをご利用できる体制を整えるため、がん患者サービス事業会社であるVOL-NEXT社による医療接遇講習を実施しています。



特定非営利活動法人 さくら並木ネットワーク

2011年の東日本大震災・大津波の到達地に桜を植え、津波被害を伝承する桜並木を植樹し、東北地方の復興支援に協力しています。



一般社団法人 経営倫理実践研究センター

企業の経営倫理を実践研究する産学協同の専門機関である一般社団法人経営倫理実践研究センターに参加し、経営倫理に関する組織体制の強化に努めています。



公益財団法人 日本チャリティ協会

日本チャリティ協会が推進するパラアート(障がい者の芸術文化)事業に、オフィシャルサポーターとして協力しています。



PARAART(パラアート)は、身体や知的、精神面で障害を抱える人が(障害区分を問わず)取り組む芸術文化活動です。障がい者の文化芸術活動と社会参加を支援することを目的として、日本チャリティ協会が発案し、2009年よりスタートしたプロジェクトです。国内はもとより海外でも周知拡大されています。



ツバルの森

ツバルの森を通じて、日本国内山間部の森林再生活動に取り組んでいます。

このマークは、ツバルの森の植林の利用を表すマークです。



Spiber 株式会社

持続可能な次世代の基幹材料として期待される構造タンパク質素材の産業化を目指しているSpiber社と、新しい毛髪素材の共同研究を行っています。



しずおか未来の森サポーター

「しずおか未来の森サポーター」として静岡県の豊かな森林づくりをサポートしています。



株式会社 TBM

プラスチックや紙の代わりとなる石灰石を主原料とする新素材LIMEXを開発する株式会社TBMと、地球の資源、環境問題に取り組んでいます。

2024年1月発行

2024年3月改定